

第20回文京区医療連携推進協議会在宅医療検討部会 兼
第10回文京区地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会
(議事要点記録)

日時 平成31年3月27日(火) 午後1時30分から午後2時45分
場所 区議会第2委員会室(シビックセンター24階)

<会議次第>

- 1 部会長挨拶
- 2 文京区地域医療連携推進協議会 在宅医療検討部会 報告事項・議事
 - (1) 「文京かかりつけマップ」及び「医療機関情報検索システム」について
 - (2) 平成30年度文京区地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会兼文京区地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会の取組みについて(案)
 - (3) その他
- 3 文京区地域包括ケア推進委員会 医療介護連携専門部会 報告事項・議事
 - (1) 文の京フレイル予防プロジェクトの実施について
 - (2) その他
- 4 閉会

<配布資料>

- 資料第1号 「文京かかりつけマップ」及び「医療機関情報検索システム」について
- 資料第2号 平成30年度文京区地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会兼文京区地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会の取組みについて(案)
- 資料第3号 文の京フレイル予防プロジェクトの実施について
- 参考資料1 文京区地域医療連携推進協議会委員名簿
- 参考資料2 長寿時代の人生設計と社会創造ーフレイル予防と100歳までの人生設計ー

<出席者>

田城孝雄部会長、加藤裕昭委員、石川みずえ委員、野村茂樹委員
藤田良治委員、川又靖則委員、安部節美委員、角田由美子委員
宮本千恵美委員、高梨陽子委員、畠中敏江委員、吉田勝俊委員
溝尾朗委員、中根綾子委員、内田美行委員、中谷伸夫委員、新堀季之委員、
和田久美子委員(名取委員代理)、森岡加奈絵委員、中川貞子委員、
井関美加委員

<欠席者>

英裕雄委員、足達淑子委員、飯塚しのぶ委員

<事務局>

榎戸健康推進課長、真下高齢福祉課長

坂田認知症・地域包括ケア担当課長

<傍聴者>

0人

1 部会長挨拶

田城部会長;第20回文京区地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会及び第10回文京区地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会を開会します。初めに、委員の出席状況等について、事務局よりお願いします。

榎戸健康推進課長（事務局）；<出席状況報告及び資料確認>

本日の会の構成について簡単にご案内をさせていただきます。

本会は、文京区地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会と文京区地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会の2つの会議体を兼ねております。本日は2つの会議を2部構成という形で分けまして、まず地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会として報告と議事を行い、その後に地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会として報告と議事を行う形で進めさせていただきます。何かお気づきの点がございましたら、会議終了後、事務局までお申しつけください。

2 文京区地域医療連携推進協議会 在宅医療検討部会 報告事項・議事

(1) 「文京かかりつけマップ」及び「医療機関情報検索システム」について
田城部会長；(1) 「文京かかりつけマップ」及び「医療機関情報検索システム」について、事務局より説明をお願いします。

榎戸健康推進課長（事務局）；事務局の岡田医療連携担当主査よりご説明いたします。

岡田医療連携担当主査（事務局）；<資料第1号の説明>

田城部会長；何かご質問などございますか。

アイコンの定義の「カード可」ですが、順天堂医院や東大病院などクレジットカード払いに対応している医療機関もありますが、吉田委員いかが

ですか。

吉田委員；当院ではカード払いは行っておりません。

田城部会長；今回の変更案では自費診療のみというただし書きがついていますが、加藤委員いかがですか。

加藤委員；カード払いをお受けしている診療所は、私の知っている範囲ではないように思います。

田城部会長；わかりました。では、歯科医師会の先生方いかがでしょうか。インプラント等の高額診療の場合には、カード払いもできると聞きますが。

藤田委員；自費診療の場合にはカード支払いができるところもあるようです。

田城部会長；保険調剤薬局ではいかがですか。

川又委員；カード払いができるところが多いです。

「文京かかりつけマップ」の薬局のガイドには、アイコンがありませんので、次回改定時にそういうものが入るのであれば、非常に助かるのではないかと思います。

田城部会長；現在、アイコンの記載は、医科と歯科のみですね。

藤田委員；アイコンの「予約可」ですが、今は電話予約ということで電話の絵柄になっていますが、ネット予約の場合はいかがですか。

田城部会長；最近はインターネット予約可のところもあり、予約は2種類ありますね。予約の種類について区別されるかどうか、いかがでしょうか。

岡田医療連携担当主査（事務局）；文京かかりつけマップ等検討部会でも、予約に関して議論があったのですが、電話なのかネットなのか、分けて記載することも可能ですが、紙面上スペースが限られていますので、全部対応できるかという問題もあります。

田城部会長；現在予約のアイコンが電話のマークになっていますが、マークを電話とスマートフォンとで分ける方法もあると思います。カード払いと

一緒に、ネット予約がどれくらい浸透するかということもあると思いますので、とりあえず現時点ではこのようになっているということですね。

「文京かかりつけマップ」の検討部会のときに、三師会の事務局の方も来ていただくと議論が進みやすいかもしれません。

- (2) 平成30年度文京区地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会兼文京区地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会の取組みについて(案) 田城部会長；次に、(2) 平成30年度文京区地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会兼文京区地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会の取組みについて(案)、事務局より報告をお願いします。

榎戸健康推進課長(事務局)；<資料第2号の説明>

田城部会長；何かご質問などございますか。

<質問なし>

- 3 文京区地域包括ケア推進委員会 医療介護連携専門部会 報告事項・議事
(1) 文の京フレイル予防プロジェクトの実施について
田城部会長；(1) 文の京フレイル予防プロジェクトの実施について、事務局より説明をお願いします。

真下高齢福祉課長(事務局)；<資料第3号、参考資料2の説明>

田城部会長；これに関してご質問はございますか。また、フレイルは介護予防、介護保険関係の最先端だと思いますので、何かご存じのことがあれば、コメントをお願いします。

川又委員；この事業は、単年度の事業になりますか。

真下高齢福祉課長；予算的には来年度単年度になりますが、引き続き文の京フレイル予防プロジェクト事業を拡大してまいりたいと考えておりますので、来年度以降も継続していく予定です。

川又委員；歩けなくなる人が多く、横断歩道が渡れない様子の方を薬局の前でもよく見かけます。このような運動が啓発されればとっていましたので、非常に期待しています。

田城部会長；ほかにご意見等ございませんか。いずれこれは地域包括支援センター単位でフレイルチェックの会を実施していかれるのでしょうか。

真下高齢福祉課長；フレイルチェックの会場は、区内の住民主体の通いの場と連携して展開していく予定です。まず来年度は、通いの場2カ所程度と、地域活動センターや文京区シビックセンター等を使って、場所にするると5カ所程度で始めていきたいと考えております。

田城部会長；通いの場というのは、介護予防・日常生活支援総合事業と絡んでいるものですか。それとも普通の交流広場のようなものですか。

真下高齢福祉課長；通いの場は、介護予防・日常生活支援総合事業の中の一般介護予防事業になります。

田城部会長；一般介護予防事業は制度化されていて、介護保険の中で継続して行われるものですから、そこをベースに付加的にという理解でよろしいのですね。

数年前に、柏市で行われているフレイル予防事業の現場を見に行ったことがあります。厚生労働省では柏市の事業に着目していて、局長も視察に来ていました。今後は厚生労働省の老健局や医政局のほうでもフレイル予防を念頭に置きながら、診療報酬や介護報酬の設定がされていくのではないかと思います。柏市では数年前から実施されていて、市民を取り込んでしっかり行われていますね。フレイル対策については、神奈川県では平塚市などいくつかの自治体で行われていますし、東京では西東京市、文京区で行われ、自治体で取り組もうという動きになっていると思います。

フレイルサポーターは男性の65歳以上の方にも多く参加していただいでいて、一般的に高齢者は女性の方が社会的に対応しやすく男性が孤独を抱えがちで、地域社会に男性高齢者の社会参画が少ないとされている中、男女問わずうまくいっている事業だと思えます。

高齢者あんしん相談センター長から、何かコメントはございませんか。

中谷委員；こういった予防に対して高齢の方々が積極的に参加されるかという、まだ自分は違うと思われている方も多く、取り組みが難しかったところがありましたが、フレイル予防プロジェクトのこういう理屈もいいところだと思いますので、理屈も入った中で参加していただければという期待もしています。

ただ、高齢者あんしん相談センターとしては、フレイルチェックをしたその先をどうするかというところで我々の業務と非常に重なるところがあり、フレイルチェックをされた方の受け皿としてどうするかとか、その方々がどれほど支援を求めているかというところについて、まだまだ勉強しないといけないと思っています。

田城部会長；ほかにいかがでしょうか。

内田委員；フレイルの要因で、ポリファーマシー（有害事象を伴う多剤併用）のケースがときどきあります。多くの薬を服用していたところ、薬を減らしたら嚥下もとてもよくなり、動けるようになったというケースがたびたびあります。薬剤師会として、ポリファーマシーにはどのように取り組まれていますか。

川又委員；薬剤師会としては、高齢者の服薬について東大病院でも用いられている指針が基本になっています。普段服用していて効果の期待できないものなどをスクリーニングし、1剤入れたら、1剤減らしたいというのが原則的にあります。残薬のチェックをすることで服用する薬の種類を減らしたという事例が幾つかありますので、これからはそういう問題をチェックして、ドクターと連携を図って、減らせるものは減らすという方向で考えています。

田城部会長；ポリファーマシーの件は、文の京フレイル予防プロジェクトとの直接的な関係はありませんが、ポリファーマシーは重要な課題でありますし、日本老年医学会でも取り組まれ、国レベルの問題になっています。高齢者は複数の診療所を受診されることが多くなりますので、お薬手帳での管理等をして対策に取り組んでいけたらということだと思います。

フレイルチェックは、対象年齢を設けているのですか。

真下高齢福祉課長；年齢的な制限は考えておりません。65歳以上の方、若い方、幅広い年齢の方にご参加いただきたいと思いますと思っています。

田城部会長；とにかくまずはご参加いただければということですね。

中根委員、オーラルフレイルについてご意見等お願いします。

中根委員；平成30年度診療報酬改定で、新しく歯科の病名に「口腔機能低下症」が増えました。算定点数はあまりないと思いますが、オーラルフレイ

ルが始まった高齢者を、早い段階に診療所単位で拾い上げて介入していくという保険診療の制度ができてきていますので、これからオーラルフレイルについてのデータも蓄積してくると思います。

口腔機能低下症の診断のために7項目の評価項目があります。口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下の7項目のうち、3項目に該当すると「口腔機能低下症」と診断され、それに対してアプローチをしていくことになります。また、間をあけて再評価をして患者にフィードバックしていくことが保険診療に設けられましたので、少しずつそういった動きが広がって、歯の治療だけではなくオーラルフレイルへのアプローチを始めるところが出てきています。

田城部会長；死因別死亡率ですが、肺炎が、三大死因（悪性新生物（腫瘍）、心疾患、脳血管疾患）の一つとされる脳血管疾患を、過去7年前頃から数年連続して上回っていましたが、近年誤嚥性肺炎に対する口腔ケアが行き届いたこともあり、肺炎の順位は下がりました。フレイル予防は三大死因にもつながっていく話ですし、社会的フレイルで引きこもっている高齢者が社会参加するきっかけにもなり、持続可能な地域共生社会につながっていくお話だと思います。SDGs（持続可能な開発目標）の「誰一人取り残さない」という理念につながっていく第一歩であると思います。

文の京フレイル予防プロジェクト事業は、どちらの部の予算になりますか。

真下高齢福祉課長；この事業自体は、福祉部と保健衛生部の共同で実施するものでして、予算的には大方は福祉部のほうで予算化していますが、共同で取り組んでまいります。

田城部会長；柏市では、この数年間の取り組みでフレイルサポーターも大分育っていますので、市役所職員が立ち会われているとは思いますが、実際的なフレイルチェックのイベントは全部サポーターの方がされています。西東京市はもともと都立病院で医師をされていた方が市長をされていることもあって、市長の肝いりで実施されています。

榎戸健康推進課長（事務局）；文の京フレイル予防プロジェクトは、福祉部高齢福祉課が主体となり行っておりますが、こちらの一番の軸足は社会参画の促進になります。保健衛生部健康推進課も力を入れて行っているところですが、まずは高齢者の方に出てきていただくところが最初の一步にな

りますので、そういった意味で、高齢福祉課の社会参画支援係が主体で行っています。介護保険上の予算措置では、平成31年度のところはまだないですが、いずれ介護予防という視点から含めていければと認識しています。

田城部会長；地域共生社会につながっていきますし、先ほどお話にありました住民主体の通いの場や自治活動の方に寄っていくお話になるのだろうと思います。

最先端として、フレイル予防はこれから区の行政の何本柱かの1本になっていくであろうと期待しています。飯島先生の勉強会に、こちらの部会委員も参加できるような機会を考えていただければと思います。

ほかに何かございますか。

井関委員；フレイルトレーナー・サポーター養成講座の開催が年1回とのことですが、もう少し開催回数がありましたら私たちケアマネジャーや、区民の皆さんがもっと参加されて、たくさんの方にサポーターになっていただけるのではないかと思います。認知症サポーター養成講座を各地域包括支援センターで実施されていて、同時には大変だと思いますが、ご検討いただけたらと思います。

真下高齢福祉課長；フレイルチェックを5会場で10回程度実施予定ですが、イレブン・チェックや活舌のテストなどのサポートや、参加者の理解を補足していただくなど、スタッフ側として運営していただく方をフレイルサポーターとして位置づけています。初年度は、フレイルサポーター養成講座で20名ほどお願いしようと考えております。

フレイルチェックを年間10回実施ですが、日程調整しながら1回15名程度のフレイルサポーターの方に支援でお入りいただき、スタッフ側として運営していただこうと考えてございます。

ですので、開催回数については、初年度としてはまず1回程度の開催と考えておりますが、2年度以降にどの程度広げていくかを1年目の実施を踏まえて考えていきたいと思っております。開催回数が増えればより多くのサポーターの方が育っていくと思っておりますので、この事業を拡大し、その辺を考えていきたいと考えています。

田城部会長；柏市や西東京市など全国の自治体で導入され実施されていますが、準備にあたってはフレイルチェック時のシールの作成など物品関係でも費用がかかりますので、とりあえず初年度はできるところから始めてということになると思います。

文京区の人口は20万人ぐらいですよ。柏市では男性も積極的に参加してリーダーシップをとられていて、高齢者の地域社会では余りない形で非常にいい影響だと思います。文京区において、柏市のようにアクティブに活動される方がどのくらいいらっしゃるかはわかりませんが、自治会や老人会等で掘り起こしていく形になるかだと思います。

自治会等はどちらが所管課になりますか。

真下高齢福祉課長；自治会は区民課が所管になります。また、高齢者クラブについては私ども高齢福祉課が所管になりますので、フレイル事業について周知を進めていきたいと思っております。

田城部会長；自治会や高齢者クラブへの補助金はあるのですか。

榎戸健康推進課長（事務局）；区民課より自治会・町会等の運営に関する補助金を出していますが、こういった部分について補助金を出すといった動きは今のところございませんが、今後の経過を見ていきたいと思っております。

田城部会長；何か質問やご意見等ございますか。

溝尾委員；「文京かかりつけマップ」ですが、今後オリンピックで外国人が増えてくるかと思っておりますので、そのときに備えて英語可とか備考欄に入れたらいかがでしょうか。

榎戸健康推進課長（事務局）；2020年のオリンピック開催に向けて、外国人が増えることを考えなければいけないものと認識しています。「文京かかりつけマップ」は情報量が多いので、そのまま外国語をプラスすると逆に日本人がわかりにくくなるという懸念もあります。外国語版、4カ国語などの簡易版をつくるかどうかという視点で、2020年に向けて検討していきたいと思っております。ただ、現在のマップにさらに情報量を増やすのは難しいと考えています。

田城部会長；オリンピック関連は、基礎自治体がやるべきなのか、都がやるべきなのか、国がやるべきなのか、オリンピック委員会がやるべきなのかという話も出てくると思います。ただ、将来的に観光客以外の外国人も多くなると思います。

溝尾委員；文京区在留外国人というのはどのくらいいるのですか。

榎戸健康推進課長（事務局）；確認いたしまして、後ほどご回答いたします。

溝尾委員；余談ですが、オリンピック関係で行くと、外国人の救急が結構問題になるかと思えます。全部の診療所で外国語が対応可かの確認を行うのは大変かと思えますので、病院のほうだけでも、どれぐらいの外国語が可能なのか、夜間対応はできるのか、いずれ問題になるかと思えますので、詰めておいたほうが良いと思えます。

榎戸健康推進課長（事務局）；文京区在留外国人の増加にどのように対応していくのか、また2020年オリンピックに向けて多くの外国人観光客がきたときにどのように対応するかについては、分けて考えるものと考えています。

文京区内で特に増えている外国人はベトナムの方が多いとか、小日向ではフランスの方が多いという話も聞いており、地域の国や特徴を把握した上できちんと対応していかなければいけないと思えます。先ほどの医療体制を含めて喫緊の課題であると思えますので、別途オリンピック・パラリンピックの担当部署と協議しながら積み上げていく内容と考えています。

田城部会長；文京区内大学病院では外国人対応に力を入れていますので、メディカルツーリズム以外の方でも対応可能かと思えます。

ほかにご質問はございますか。

森岡委員；先ほど文の京フレイル予防プロジェクトについて、出てこない方、ひきこもりの方にも出てきていただけるようにと話されていましたが、今の概要では、通いの場に来ている方をまず対象にされているように感じます。会や年数を重ねていくごとに、少しずつ成熟されていくと思えますが、まず一つ、出てこない方というのはこの通いの場にも出てこないと思えます。そのような方をどのように捨っていくのかという部分を、もう少し具体的にお伺いできればと思えます。例えば、こういう通いの場には出てこないけれども病院には行っているという方々がいます。フレイルチェックを受けるためにこの場所に行かないといけない、ではなく、クリニックやかかりつけの先生のところに行ったときに、先生からフレイル予防プロジェクトについて患者にご紹介いただくといったことも含めて行っていったらいかがかと思えます。

こういった予防関係にしても、窓口として大体高齢者あんしん相談センターがあがってきますが、高齢者あんしん相談センターの通常業務はかな

り多いと思いますので、こうやっていろいろと増えてくることによって、高齢者あんしん相談センターでそれをきちんと受け切れるのかどうかという部分について、行政の方ではどのようにお考えなのかなどと思いました。

真下高齢福祉課長；出てこない方々に出てきていただくというのは、確かに難しい課題と捉えています。まずは5カ所ではありますけれども、この通いの場以外にも地域活動センターやいくつかの区内施設において実施していく予定です。気兼ねなく来ていただけるような形で広く周知を行うという方法もありますが、病院の先生あるいは関係者からこういった場があることをおすすめていただける場も、おっしゃるとおり大切であると思います。この事業について、医療関係者の方や介護関係者にもご周知いただき、何かの機会にお声がけいただければと考えていますので、今後事業を進めていく中で、皆様にもお伝えして、広くそういう方にとっても行きやすいような形で、実施していきたいと考えています。

それと、高齢者あんしん相談センターの負荷、負担といったところですが、フレイルチェックは、まずご自身でフレイルが進んでしまうかもしれないということにお気づきいただき、ご自身で何か行動を変えていただくというところも一つの狙いになっています。リスクが高い方、今後要介護、要支援になりそうな方については、高齢者あんしん相談センターにおいて受け付けしている介護予防事業等がありますので、そちらをご案内していきたいと考えています。確かに事業をつなぐ過程に当たっては、高齢者あんしん相談センターに多少の負担がかかると思いますが、早い段階からそういった方々を把握していただくことも大切であると思いますので、高齢者あんしん相談センターと協力しながら事業を進めていきたいと思っています。

田城部会長；高齢者あんしん相談センターのお二人から何かございますか。

新堀委員；森岡委員のご指摘は、もっともでして、こういったスクリーニングにひっかかる方はいろいろな機会にひっかかる方が多いのですが、ひっかからない方をどうするかというのは、高齢者あんしん相談センターにおける昔からの課題です。

人員の問題もありますが、こちらから出向いていくというアウトリーチ機能を発揮していくしかないのではというような考えは持っております。言ったらやるのかという話になりますので、なかなか難しいことではございますが、今後の予算化のことも踏まえて、いわゆる出てこない方、孤立している方をいかに取り込んでいくかというような活動になるかとは考えています。

田城部会長；外に出てこない方をどうするかということですが、柏市の場合には、世話好きな方が隣近所に声をかけるなどして参加が増えるようになったようです。ご自分で介護予防をちゃんとしましょう、社会参加を積極的にしましょう、周りの人を社会参加に引っ張り出しましょうというのが、これからはシニアの方に要求されていくことになると思います。柏市の場合には公民館や集会所がフレイルチェックの場所として使われています。住民主体の通いの場ということで、介護予防・日常生活支援総合事業に携わる事業者やNPOの方々が、こういうことに熱心に取り組まれているのが世の中の流れかと思います。

特に、ご質問がないようでしたら、閉会したいと思います。

事務局からご連絡等お願いします。

榎戸健康推進課長（事務局）；先ほど回答を保留させていただきました外国人の人口ですが、平成31年3月1日現在で、文京区民22万1,775人のうち外国人は1万796人、割合としては4.9%になり、かなりの割合を占めているという認識です。

次回の部会開催は、8月ごろを予定しています。日程につきましては、田城部会長ご相談の上、決まり次第ご連絡いたしますので、よろしく願います。

なお、今回の要点記録を文京区のホームページに掲載いたしますので、事前に要点記録の確認をご希望の方は、事務局までお申し出ください。

田城部会長；フレイルはとてもいい取り組みですので、ぜひ進めていただければと思います。

では、閉会といたします。ありがとうございました。